

福 歯 発 第 6 5 5 号

平成31年2月27日

各 会 員 様

公益社団法人 福島県歯科医師会  
会 長 海 野 仁



### 平成31年度 学術大会の開催について

平素は、本会の会務運営に格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

標記大会を別添実施要項のとおり開催することになりましたので、会員諸先生はじめ歯科医療従事者の更なる研鑽を積まれるためにも、是非この機会に受講くださるようご案内いたします。

受講希望者は、別紙報告書により3月30日(土)まで県歯事務局宛FAX等にてご報告くださるようお願いいたします。

本大会は「か強診」に関する施設基準の要件に該当する研修会となりますので、受講会員には修了証書を発行いたします。

また、会員以外の歯科医師の方で修了証書の発行を希望する場合には、本会内規により所定の様式による申し込みとなりますので、その際は事前に就業地のある地域歯科医師会長にご連絡してください。

※ 日歯生涯研修事業に該当しておりますので、当日ICカードをご持参ください。

(事務担当：福島県歯科医師会学術係 TEL024-523-3266 FAX024-524-1323)

# 平成31年度学術大会要項

1. 主 催 公益社団法人 福島県歯科医師会
2. 対 象 歯科医師及び歯科医療従事者
3. 日 時 平成31年4月7日（日）午前10時～午後2時
4. 会 場 郡山市喜久田町卸1丁目1-1  
「南東北総合卸センター2階 中会議室」 TEL024-959-6001
5. 日 程
  - 9:45～10:00 受 付
  - 10:00～10:10 開 会・あいさつ・講師紹介
  - 10:10～11:50 講 演（午前の部）

『 原因から考える治療戦略－歯周治療における SPT－ 』

※「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所（か強診）の歯周疾患管理（SPT含む）の施設基準に係る研修

新潟大学医歯学総合病院予防・保存系歯科

歯周病科 病院准教授 久保田 健彦 先生

- 11:50～12:00 質疑応答
- 12:00～12:40 昼 食
- 12:40～12:45 講師紹介
- 12:45～13:50 講 演（午後の部）

『 本当にその歯はう蝕ですか？～初期う蝕の診断と管理～ 』

※「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所（か強診）のう蝕管理（Ce含む）の施設基準に係る研修

奥羽大学歯学部

口腔衛生学講座 講師 大橋 明石 先生

- 13:50～14:00 質疑応答
- 14:00 閉 会

（事務担当：福島県歯科医師会学術係 TEL024-523-3266 FAX024-524-1323）

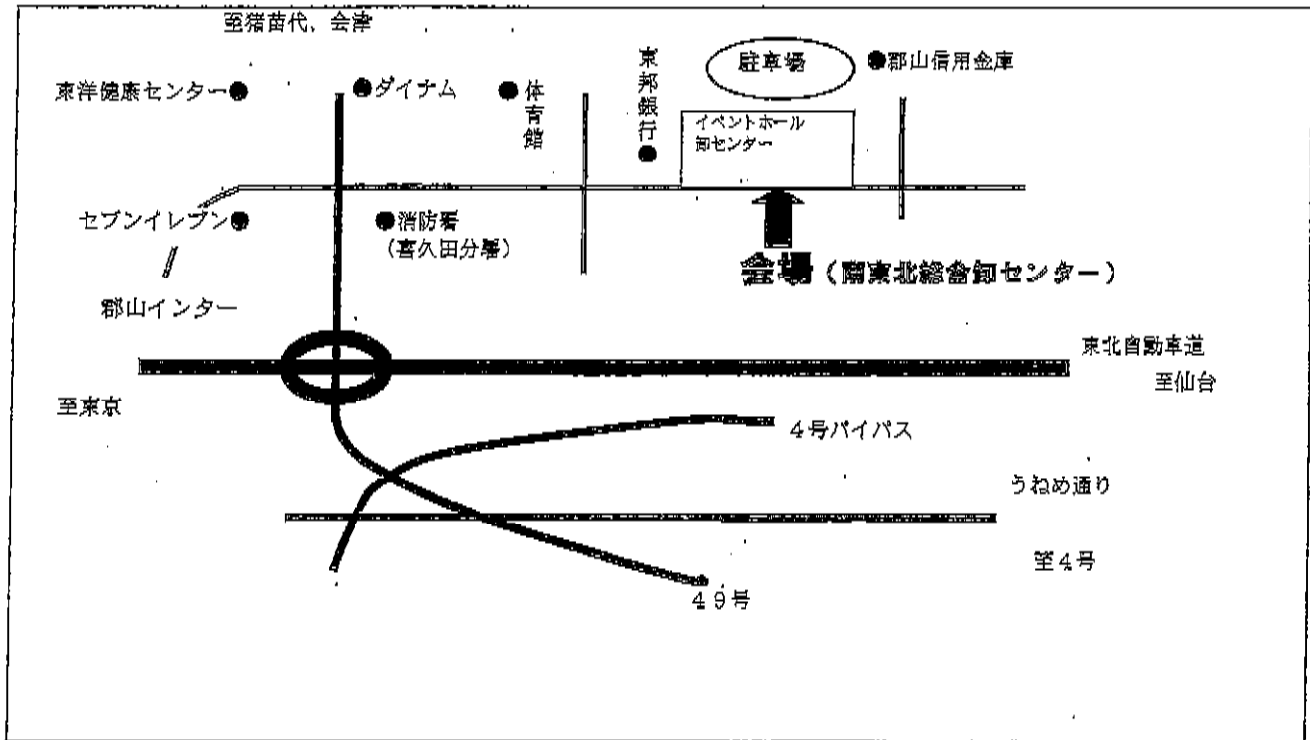
# 会場及び駐車場のご案内

## 【会場地図】

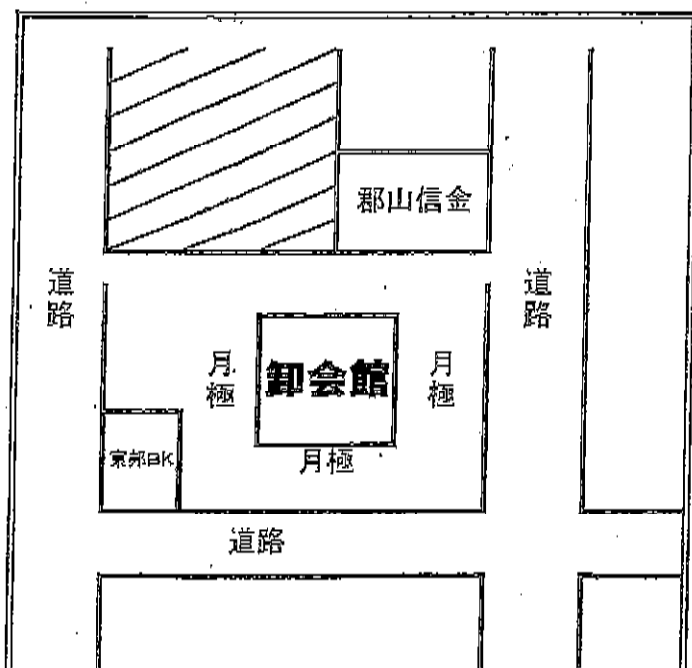
南東北総合卸センター協同組合

〒963-8681 郡山市喜久田町卸1丁目1-1

TEL 024-959-6001



## 【駐車場見取り図】



\*無料駐車場は斜線部分になります。

会館近くの駐車場は、月極になっておりますので、ご注意ください。

## 原因から考える治療戦略－歯周治療における SPT－

新潟大学医歯学総合病院准教授 久保田 健彦

この度は福島県歯科医師会講演会にお呼び頂き有り難うございます。専門は、歯周病学・歯周治療学です。貴会員の皆様が、明日からの臨床に実践的に役立つお話ができれば幸いです。超高齢化社会になり、歯を失う最大の原因「歯科病」に注目が集まり、虫歯時代からのパラダイムシフトが起きています。更に、アップデートされる歯周治療の保険診療・保険外診療でも頭を悩ませることもあるのではないのでしょうか？歯科衛生士さんが活躍する時代になり、歯周基本治療や歯周外科治療、そしてしっかりとしたメンテナンス・サポーターティブペリオドンタルセラピー (SPT) ・口腔ケアができることが、これからの選ばれる歯科医院には大切だと思います。

本講演では、「原因から考える治療戦略－歯周治療における SPT－」と題しまして、臨床症例を提示しながら、一連の歯周基本治療・SPT への包括的歯周治療の流れについて皆様と一緒に考えてみたいと思います。

## 本当にその歯はう蝕ですか？～初期う蝕の診断とその管理～

奥羽大学歯学部口腔衛生学講座 大橋 明石

「う蝕は不可逆性疾患であり一度罹患すると元には戻らない」至極常識である。しかし、この「う蝕は不可逆性疾患である」は、う蝕を実質欠損の有無のみで捉えた考え方であり、初期う蝕病変(以下、初期う蝕)を「う蝕」に含めるか否かで話は変わってくる。つまり、初期う蝕を健全に戻り得る状態なのか(健全歯に含む)、不可逆的状态なのか(う蝕に含む)、までしっかりと判別できなければ、その後の対応にまで影響が出る。

2005年、欧米のカリオロジー専門家により新しいう蝕診断基準が発表された。International Caries Detection and Assessment System(ICDAS)である。ICDASは、う蝕の診査をう蝕の検出(Detection)とう蝕活動性の評価(Assesment)の二つの視点によって行うものである。う蝕の検出とは歯面を健全・初期う蝕・う蝕のどの状態であるかを診査すること。う蝕活動性の評価とは、検出された初期う蝕が将来う蝕に進行するのか、健全に回復するのかを診査することである。ICDASはフッ化物応用などのう蝕予防を含めた患者の継続的管理、エナメル質初期う蝕(Ce)管理にも有用である。

最後に、ICDASは今年の歯科医師国家試験にもその診査基準を問う問題が出題されるなど、今や歯科医師にとって常識となりつつある。

# 平成31年度 学術大会(4/7)出席者報告書

( FAX:024-524-1323 )

※ 締切 3/30 (土)

※ 該当事項を○で囲んでください。また、昼食をお申込みの方は当日受付にて代金をお支払願います。

No.	氏 名	午前の部	午後の部	職 種	昼 食 (1,000 円)
1		出・欠	出・欠	・ 歯科医師 ・ その他 ( )	要 ・ 不要
2		出・欠	出・欠	・ 歯科医師 ・ その他 ( )	要 ・ 不要
3		出・欠	出・欠	・ 歯科医師 ・ その他 ( )	要 ・ 不要
4		出・欠	出・欠	・ 歯科医師 ・ その他 ( )	要 ・ 不要
5		出・欠	出・欠	・ 歯科医師 ・ その他 ( )	要 ・ 不要

※会員以外の歯科医師で修了証書の発行を希望しない場合は、本報告書により受講を受付いたしますが、修了証書の発行を希望する場合には、事前に就業地のある地域歯科医師会長に連絡してください。

地域歯科医師会名 \_\_\_\_\_

会員氏名 \_\_\_\_\_